

2017年
11月10日

No.228

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24
さざなみネット
 (金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

TEL・FAX 077-545-5154

金融労連近畿地協第12回定期大会

地域経済を支える金融マンとしてプライドとやりがいを取戻そう

10月21日、大型台風21号が接近する中、近畿地協第12回定期大会が京都市のホテル本能寺で開催され、代議員・役員など29人(委任状6含む)および来賓3人が参加、さざなみネットからは山崎書記長が役員として出席しました。

主催者を代表して岡野議長は「神戸製鋼・東芝など大企業の不祥事が続いているなかで、現場では個人が尊重されず、上からの命令で自己決定できない人づくりが進められている。自分ファーストで、意に沿わないものは排除するような社会を変えていこう。

金融の仕事がAIやロボットに変わる、人口減少や高齢化で赤字になり再編されると言われているが、地域金融機関の役割はますます重要になってきている。私たちは地域経済を支え地域に寄り添う金融マンとしてプライドとやりがいを取戻し、地域になくしてはならない金融機関にしていくことが求められている。またそこで働く労働者の人間らしく質の高い環境づくりも重要になってきている。

私たちは地域経済や地域産業を支えるため、経営に施策を提言していくことが今求められている。今年度も学習を深めて、諸課題を積極的に進めて



あいさつをする岡野議長

いこう」と挨拶しました。

来賓のみなさんから、衆院選を翌日に控えた政治・経済情勢や職場での活動をふまえた激励のあいさつを受けた後、議案が阿部事務局長と伊藤事務局次長から提案され、討議では単組・分会から9人が、さざなみネットからは山崎書記長が発言しました(発言要旨裏面)。採決の結果全議案とも満場一致で採択されました。

その後、新年度の役員選挙が行われ、次の方々が選任されました。

選出された新四役(会計監事・敬称 略)

議長	岡野展子(池田泉州従組)
副議長	松島照男(金融ユニオン・大阪分会)
書記長	阿部正巳(京都北都信金従組)
事務局次長	伊藤宗孝(金融ユニオン・直属支部)

また解雇撤回のたたかいを支援するため、10月4日に結成された「大阪シティ信金尾形さんを支援する会」の社会長より入会が訴えられました。

最後に岡野議長が新役員を代表して決意表明を行い、松島副議長の音頭でガンバローを三唱し閉会しました。



選出された役員と幹事



紅葉に月 岩波 美智子さん 画

山崎書記長の発言要旨

組合から見た経営分析 対話や交渉に活用

銀行は「未来永劫銀行の名を残すため、いま生産性、収益性を高めなければ」と厳しい施策を出してきている。組合から見た経営分析が必要だと、店頭やホームページにある資料を分析し、職場の仲間への対話や銀行との交渉に活用している。具体的な数字やグラフで訴えることが重要である。

23の項目、39のグラフと解説を大会議案書に掲載している。うち2項目を紹介する。

平均年間給与（右上のグラフ）は、前年比144千円（2.1%）、2002年比769千円（10.1%）減少、最低状態である。人事制度の改悪、臨給の枠削減、長年賃上げゼロが続いているためである。



労連近畿地協第12回定期大:



山崎さざなみネット書記長の発言

内部留保（右下のグラフ）は前年比311億円（8.8%）増加、2009年比2,009億円増加の2倍強になり、最高値となっている。

今こそ、内需拡大・景気回復のために、賃金の底上げ・雇用の改善や取引先・地域などへの社会還元が求められている。



2017ピースナインコンサート 「9条守ろう」と大合唱

10月28日栗東文化芸術会館さきらで、ピースナインコンサートが開かれ約150人が、さざなみネットから2人が参加しました。

「雑花塾」や森みちさんの歌、ナオユキのコントなどの後、参加者が「9条、平和さえあれば」と大合唱しました。

感想 聴きながらいっしょに歌う楽しいコンサートでした。選挙の結果で少しがっかりしていましたが、「平和の暦」等をたくさんの人たちと同じ気持ちで歌えて元気が出ました。このように歌の力、笑いの力で、戦争をなくしみんなが平和に生きていけたらと思います。



イラスト: さかろこ

選挙結果について 市民と野党の共闘を発展させ 憲法改悪阻止 国民運動の前進を

10月22日に投開票された総選挙は、立憲民主党、共産党、社民党の3野党が市民連合と政策合意を結び、たたかった選挙でした。立憲民主党が第1党に躍進し、3野党は公示前の38から69議席へ、大きく増やしました。



市民と野党の共同街頭演説会
10月8日 JR草津駅東口

民進党が希望の党に合流するという逆流の中、共産党は全国67の小選挙区で候補者を取り下げるなど共闘路線を追求。各地で共闘候補が勝利しました。

自民・公明両党は議席の3分の2を占めましたが、自民党補完勢力・希望の党による野党共闘分断や、大政党に有利な小選挙区制で「漁夫の利」を得たのです。自民党が得た比例得票は33%なのに、全議席の61%の議席を得たのは、もっぱら大政党有利に民意をゆがめる小選挙区制がもたらしたものであり、「虚構の多数」にすぎません。

市民と野党の共闘を発展させ、憲法改悪阻止をはじめとした各分野の国民運動を前進させるために、全力をあげましょう。